

スタートアップ期間中のお便り

き かんちゅう たよ
とうほうだいしょうがっこう ほごしゃ
～東豊台小学校の保護者のみなさんへ～

令和2年(2020年)6月5日
豊中市立東豊台小学校
校長 瀧田 益大

今週から、学校再開のスタートアップ期間(6/1～6/12)に入り、一日おきの分散登校、そして給食や午後の授業が始まりました。一日に登校して来る児童はまだ半数ですが、来週も健康に気を付けながら、児童には、より一層、学校生活のサイクルに慣れて欲しいです。

さて、右の写真は、今週の授業等の風景です。上の、音楽の授業では、大きな声を出す歌唱やリコーダーなどの器楽演奏を今のところは回避し、手拍子で旋律をつかむ等、様々な工夫ある授業を行いました。また、保健では年間3回実施する身長と体重の2測定を広い多目的室で床に間隔をとるビニールテープを貼って行いました。

毎日、教室を回っていますが、1年生の「ひらがな」の学習も始まっており、学校全体で本格的に授業が再開・行われていることが実感できた一週間でした。



←音楽

二測定→



←休み時間



給食時間→



左の写真2枚は、業間の20分ロング休憩と給食時間の風景です。ロング休憩は、密にならないように考え、二学年ずつのローテーションで毎日まわしました。その二学年以外は体育の時間として軽い運動ができる時間帯をロング休憩以外の時間帯に確保しました。(体操服に着替えての体育の授業は15日から行う予定です。)給食は全員前向き、おかわりは先生が…とても静かです。

以上、校内の様子をお伝えしましたが、校外＝放課後の過ごし方も、学校再開が近づくにつれ、保護者の皆様ご協力を得なければならないことが出てきています。

①下校時の安全(まっすぐ帰る) ②不審者(まずお家に人に、警察に) ③帰宅時刻(お家の人と約束。友達は友達、自分は自分) ④公共のルールを守った遊び等です。

放課後、正門を出てからの生活について、ご家庭でも、お子様と話し合っていただけるとありがたいです。

歳時記

担任をしていた頃、特に大切にしていた事に「黄金の三日間」というものがあります。どういうものかというと、新しいクラスを受け持った最初の三日間が、一年間を決定、左右するほど大切であるというものです。今では時代が違ってしまうかもしれませんが、私は全力でこの三日間を担任時代過ごしてきたことを思い出します。今度の先生はどんな先生かな?子どもたちは観ています。当然、明るく楽しいイメージをもってもらうことが何より大切ですが、こんなことをすると先生は本気で叱るというような人間としての尺度や学習のルール等を示し、共に学級づくることも同じくらい大切です。私の場合、「命に関わる危険なこと」、「人の不幸の上に自分の幸せを築くこと」、「三度注意されても態度を改めないこと」この三つは絶対に許さないと毎年断言していました。安全・安心、これに勝る居心地の良さはありません。挨拶やおかげ様の気持ち、謙虚さ、思いやりなども大切にしてほしいです。さて、今週、十五日を待たず、黄金の三日間をスタートさせた学級もあったように思います。

黄金の三日間



←カキツバタ

ガク
アジサイ→

